

# 富士山憲章

【ふじさんけんしょう ニュースレター】

# NewsLetter

No.118

2015.11



2月23日は  
富士山の日

富士山憲章ニュース	・・・P1
溶岩のうえにできた森 ～森ができるまで～	・・・P3
富士を望む山々 小御岳	・・・P5
Enjoy!! National Parks ～セコイア国立公園～	・・・P7
富士山レンジャー活動報告	・・・P9
イベント情報	・・・P10
お知らせ	

【COVER PHOTO】  
今年、10月11日に富士山の初冠雪が観測されました。手前のカラマツが黄色く色づき、美しいコントラストを織りなしています。  
(10月12日 富士山五合目にて撮影)

## 富士山憲章北麓駐車場 キャンペーンの開催

富士山ボランティアセンターでは、今年も富士山憲章キャンペーン(富士山環境保全啓発)を開催しました。今年も、富士吉田市の富士北麓駐車場にて、スバルラインがマイカー規制期間中の7月18日(土)、19日(日)、8月8日(土)から15日(土)の、計10日間で実施しました。

キャンペーンの内容は、富士山行ききのバスに乗る登山客の方を中心にゴミ袋を手渡しして、登山中のゴミの持ち帰りを呼びかけるというものです。各日5名程度のボランティアの方を募集し、ボランティアセンター職員と一緒に活動しました。

今年も天気にも恵まれたこともあり、のべ48人のボランティアの皆さんにより、合計約4900枚のゴミ袋の配布を行うことができました。特に、高校生の参加が19名と多かったです。

「ゴミの持ち帰りにご協力をお願いします。」と言いなながらゴミ袋を渡すと、「ありがとう。」と言って袋を受け取る登山客の方や、中には「ゴミ袋は持ってきているので大丈夫です。」と言ってくる方もいました。

ださる方もいました。また、外国の方に渡すと、少々びつくりされながらも笑顔で受け取ってもらえる場面も多くみられました。ボランティアの方同士も、富士山の話をしたり、よりよい配り方を考えたりする様子が見られ、終始和やかな雰囲気です。

御存じの方も多と思います。富士山にはゴミ箱がありません。「一人ひとりが「ちよとくら」とゴミを捨てると、あつという間にゴミだらけの富士山になつてしまいます。現在は外国の方も多く訪れている富士山。日本の誇り、富士山を綺麗に保つには、地道といえど、やはり一人ひとりの心がけが大切なのではないでしょうか。このニュースレターの読者の皆さんも、山や観



富士山の環境保全を呼びかけるボランティアの皆さん

光地等に行く際は、ゴミのポイ捨てはしないよう、お願いいたします。

## 富士山エコトレッキングの実施

8月22日(土)に、吉田口登山道馬返<sup>うまがえし</sup>から船津胎内樹型までの道を、富士山の自然・歴史に関する解説を聞きながら清掃活動を行う「富士山エコトレッキング」を開催しました。

今回の参加者は11名で、2グループに分かれて清掃活動を行いました。当日はよい天気で、気温が約30度と暑い中、馬返から船津胎内樹型までの下り道約7kmを、ゴミを拾いながら進みました。

吉田口登山道は、舗装された道路



富士山の環境保全を呼びかけるボランティアの皆さん

と遊歩道の2つの道が並行しています。今回は、主に遊歩道の清掃活動を行いました。遊歩道は普段あまり人が通らないためか、目立ったところにゴミは落ちていませんでしたが、草が生い茂っている陰にお菓子のゴミ、ペットボトル等が落ちていたことがありました。



登山道のゴミを拾うエコトレッキングの参加者



エコトレッキングで回収したゴミ

遊歩道を抜けて、船津胎内樹型までの車道沿いでは、タバコの吸い殻がよく落ちていました。また、車道沿いは約600m程しか歩いていないのですが、その間にタイヤのホイールが3つも見つかりました。最後に、河口湖ワールドセンターにて船津胎内樹型の見学やガイドウォークの体験をしました。

今回の活動では、可燃物1kg、不燃物3kgの計4kgのゴミを回収しました。

また、2回目の富士山エコトレックキングは10月17日(土)に予定していましたが、雨天の予報のため中止となりました。

## 富士山をきれいにする会の活動に参加

9月11日(金)に、富士山をきれいにする会による「富士山環境美化後期クリーン作戦 2015」にボランティアセンター職員も参加しました。「富士山をきれいにする会」とは山日YBSグループの関連団体で、昭和37年発足以来、長年にわたり富士山の環境美化を推進している団体です。今回の活動では、山梨県内外から38団体、約400人

が参加し、富士山五合目のロータリー周辺や、六合目までの登山道付近に落ちていたゴミを拾いました。また、自衛隊の方々も参加し、山の斜面等の危険な箇所でのゴミの回収も行われていました。

よくゴミが落ちていたのは、ちよつと目につきづらい場所や、手の届かない場所が多い様子でした。例えば、側溝の金網の下、歩道のフェンスの外側等……。ゴミは、使用済みのティッシュやペットボトルが多かったのですが、少数ながら空き缶、空きビン等もありました。

そんな中、嬉しい出来事もありました。フェンスの外側にトンガを伸ばしてゴミをとっている、観光客らしき男性が話しかけてきました。どの言語かはわからなかったのですが、ジェスチャーに促されてトンガを渡すと、フェンスの外側の、私たちでは手が届かなかった場所のゴミをいくつも拾ってくれたのです! 「ありがとうございます!」とお礼を言うと、軽く会釈をしてその男性は去っていきました。異国の地でゴミ拾いをするなんて、なかなかできないことですよね。今回の活動で回収されたゴミは、可燃物80kg、不燃物25kgの合計105kgでした(事務局発表)。美しい富士山を後世に残し

ていけるように、私たちも美しい行動を心がけていきたいものです。



富士山五合目駐車場での清掃活動

## 富士山憲章国道139号キャンペーンの開催

10月24日(土)に、「富士山憲章国道139号キャンペーン」を開催しました。今年も、各種団体、地域住民、企業、行政が一体とならうて行う「第1回ぐるり富士山風景街道一周清掃2015」と連携する形で、県境エリア(富士河口湖町と富士宮市)を挟む国道139号沿いにおいて、一斉清掃を行いました。

清掃をしていると、道端にタバコの吸

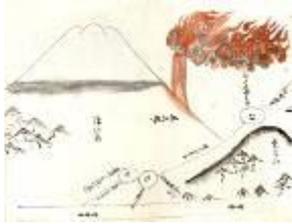
い殻、フェンスを越えた向こう側には缶、ビン、お総菜の袋やパック類の日常生活のゴミ、中には錆びきった一斗缶や、金属の大きな部品等も出てきました。また、車道から少し林に入ると、たくさんゴミが放置されているエリアもありました。

「第1回ぐるり富士山風景街道一周清掃2015」としましては、国道139号沿いにおけるこの日の活動において、山梨県側で約680kgものゴミが回収されました(事務局発表)。活動中も多くの車とすれ違いましたが、活動の様子を見てもらったり、このような活動について知ってもらったりすることで、富士山の環境問題に少しでも興味をもってもらえれば……:そう願ってなりません。



ぐるり富士山風景街道一周清掃2015の集合写真

# 溶岩のうえにできた森 ～森ができるまで～



※この絵は、宝永の噴火の時に起きた山腹噴火の様子

## ①噴火活動の開始

貞観の噴火は、富士山の山頂からの噴火ではなく、富士山の山腹からの噴火、いわゆる山腹噴火でした。

## ②溶岩流

溶岩の温度は約1100℃。主に玄武岩で構成されている溶岩であったため、粘り気が少なく、元々あった森を広範囲に焼き払っていきました。



※写真はハワイ州(マウナ・ロア)の溶岩流が流れ出る様子



※溶岩流が流れ、冷え固まった後には、元々森があった事を思わせる、溶岩樹型が多く見られる。

溶岩が冷えて固まっただけでは、もし植物の種子が飛んできても、根を張ることができず、飛ばされてしまう。

皆さんは森がどのようにできたか考えてみたことがあるでしょうか？日本は国土の3分の2を森林が占める森林大国です。ですが、その森がどのようにできたのかを知っている人は少ないのではないかと思います。森と言ってもいろいろな種類があります。人の手によって作られた人工林、山火事や地滑り・伐採によってもともとあった森のバランスが崩れた後にできる(作られる)二次林、全く人の手が入っていない原生林なんてものも日本には残っています。今回はそんな原生林のひとつ、富士山の北麓にある青木ヶ原樹海を例にとりながら、森がどのようにできていくかを紹介していきます。

まず、青木ヶ原樹海について少しお話したいと思います。青木ヶ原樹海は、貞観の噴火(西暦864年～866年)の時に流れ出た溶岩のうえにできた森です。その時に流れ出た溶岩を青木ヶ原溶岩流と呼び、そのうえにできた森を青木ヶ原樹海と呼んでいます。この溶岩流は約2年間、富士山から流れ出ていたそうで、分かっているだけで、富士山から流れ出た溶岩の量が最も多かったものと言われていきます。そしてこの青木ヶ原樹海は、富士箱根伊豆国立公園内の特別保護地区にも指定されていて、手厚く保護されている場所にもなっています。

なぜ今回、この青木ヶ原樹海を例に挙げたかという点、年号を見て分かるように、溶岩が流れ出たから約1200年、森と呼ばれるようになったのはつい数百年前と、実は森としてはとても若く、森の成長を今でも見てとれる貴重な場所になっているからです。では、噴火をした後、新しい大地ができていき、その後どのように森ができていくのかを、①から順を追って見ていきましょう。

⑥



※現在の青木ヶ原樹海の様子

約200年～

⑦



※未来の青木ヶ原樹海の様子???

約???年～

### ⑥陰樹の出現

土壌が厚く、豊かになり、陽樹の森が育ってくると、陰樹(光をあまり必要としない種)が出現します。代表されるものにナラやミズナラといったドングリの実をつける種があります。陰樹は陽樹がうっそうと生える森でも生育することができます。その代わりに、陰樹が大きくなると、光を多く必要とする陽樹の稚樹は育つことが難しくなってしまいます。現在の青木ヶ原樹海は、大きな陽樹と小さな陰樹が入り混じっている状態です。



※ミズナラの木

### ③コケ・地衣類の出現

溶岩が冷え固まった後に先ず最初に入ってくるのが、コケや地衣といったものの仲間です。地衣類とは、菌の仲間で、藻類と葉緑素の共生体のことをいいます。コケは植物の種が飛んできた際に、植物が育つために大事な土の代わりとなってくれます。また水分を留めることができるので、生育を手助けする役割にもなります。



※白っぽいものが地衣類

### ⑦陰樹の森へ

周りに陽樹がなくなり、陰樹の森になることを極相林(クライマックス)といい、森の最終形態になります。日本の極相林に代表されるのが、白神山地にあるフナノ原生林です。富士山の周りも今ある自然を大切に守っていけば、いつか白神山地のように世界自然遺産に登録される日が来るかもしれませんね。



※白神山地

### ④草本類の出現

コケや地衣類を土壌とし、ある種の植物が溶岩でできた大地のうえに発生することができるようになります。それらはパイオニア植物(先駆植物)と呼ばれ、富士山ではオンタテやイタドリがその種類だと言われています。(⑤オンタテ、⑥イタドリ)



しかし、コケや地衣類のうえでは十分な養分を得ることができず、すぐに枯れてしまいます。ですが植物が枯れることにより、そこに新たな土壌(腐葉土)ができあがり、更に大きな植物が育つ環境を作りだしてくれます。

①



### ⑤樹木(陽樹)の出現

植物が枯死を繰り返し、新たな土壌を作ってくれたおかげで、樹木が出現できるようになります。それが陽樹です。陽樹は生育に多くの光を必要とするため、開けた土地をとても好みます。そして生育がとても早いものが多いです。富士山ではまずアカマツが入ってくると言われています。



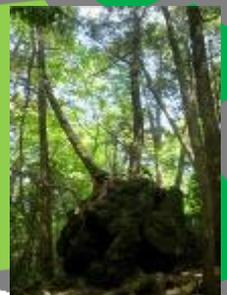
※生育するアカマツ

ですが、やはり薄い土壌であることは変わらず、育った樹木も枯死を繰り返し(更新)ていきます。そして、徐々にですが、更に厚い土壌を作るのです。1cmの土壌を形成するのに約100年必要と言われています。



※更新を繰り返す森の様子

約20~200年



※写真出典

①:「伊東志摩守日記・富士山噴火記録絵図」

②:「マウナ・ロアの噴火」

⑦:「白神山地」

wikipedia より

④

⑤

# 富士を望む山々

## Vol.4 富士を形成する歴史のひとつ 小御岳

今年の初冠雪から二週間、白く雪化粧をした富士山を

間近に見たくて絶景ポイントへ車を走らせた。ここは

おそらく、日本一富士山を近くに見る事のできる

山ではないだろうか。

今回の富士を望む山々は、富士山の一部、小御岳からの

富士山をお届けします。

富士山は、主に先小御岳火山、小御岳火山、古富士

火山、そして現在のかたちを形成する新富士火山の

四つの火山から成り立っています。小御岳は今から

約20万年前の噴火で誕生しましたが、その後の

古富士火山、新富士火山の噴火活動により山体は

飲み込まれ、山頂付近を残すのみとなりました。

実はこの小御岳火山の山頂こそが富士スバルラ

インの五合目なのです。



五合目ロータリーから山頂を望む 5



黄金色に紅葉した五合目のカラマツ

小御岳神社や、五合目総合管理センター、お土産屋さん、駐車場もみんな小御岳火山の山頂に建てられています。五合目から富士山の山頂を見上げると、手が届きそうだけれども遠い。なんとも不思議な感覚に包まれることがあります。

五合目の標高が約2300mなので、富士山頂との標高差は約1400m以上もあります。ですから十月に入り、五合目もナナカマドやダケカンバが紅葉し、中旬を過ぎる頃には

金色に輝くカラマツの紅葉も始まりましたが、麓や五合目は秋真っ盛りでも山頂はすでに厳しい冬山へと衣替えをしています。

暖色系の紅葉の絨毯の奥に見える青と白の富士山は、秋と冬の狭間を感じさせてくれます。

普段、山になじみのない方も、ドライブやトレッキングで、秋と一足早い冬の訪れを小御岳で感じてみてはいかがでしょうか。

【撮影場所：富士スバルライン五合目ロータリー】

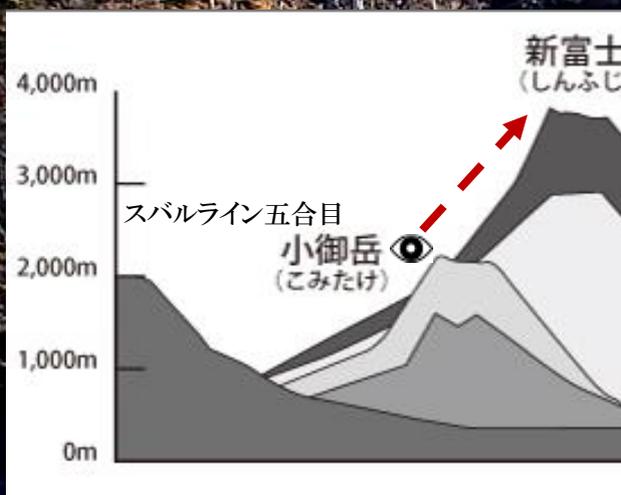
【撮影日時：2015年10月25日】

※富士スバルラインは天候などにより通行止めになることがあります。

【問い合わせ先】山梨県道路公社：05551721311



スバルライン(紫)※山中湖観光協会HPより



富士山の火山群

# Enjoy!! National Parks



私達日本人にとって身近な富士山。世界文化遺産であり、「富士箱根伊豆国立公園」に属しています。一口に国立公園といっても、その運営方法や利用マナーは公園によって様々です。世界で初めて国立公園に指定されたヨセミテ公園を有するアメリカの国立公園を例に、富士山との違いを見ていきます。

## 日米の国立公園

日本の国立公園とアメリカの国立公園とで決定的に違うのは、その土地の「所有」についてです。アメリカでは、国立公園は全て国が所有する財産と言う事になっています。「日本は違うの!?」と、思う人も多いと思いますが、日本の国立公園は対象となる地域を国立公園として「指定」し、土地の利用に制限をかけているのみなんです。その地域の中には国の所有する国有林や、民間企業などが所有する民有林などが混在しています。「富士箱根伊豆国立公園」内にも様々な商業施設や北麓の演習場などがありますよね。アメリカでは国立公園は政府が所有する直轄地なので(例外もあり)、公園内では州の権限も及ばないそうです。自然、動植物、文化財などの保護と利用はもちろんのこと、警察や消防、園内施設の経営管理など、さまざまな責任を国が担っています。どちらが良いというわけではありませんが、日本とアメリカの国立公園はそういったところに違いがあります。地域を指定して、その開発等の土地利用を制限する日本の国立公園制度は「地域制」と言いますが、国がその土地の所有権を取得する必要が無い為、運営にコストがかからない、というメリットがあります。

アメリカの国立公園は、国が公園の経営管理の責任をほぼ担っている為、莫大な費用がかかります。そのため、訪れる観光客から入園料を義務付けている国立公園がほとんどです。有名なグランドキャニオンでは、車で行った場合25ドル(約3000円)の入園料を払わなければなりません。

今回紹介させていただくアメリカ南西部にある「セコイア国立公園」は、日本一の標高を誇る富士山に對して、アメリカ本土の最高峰であるホイットニーという山を有しており、多くの人が登山に訪れます。ロサンゼルスから車で約4時間半のところにあるこちらの国立公園は、アメリカで3番目に国立公園として設立されました。年間来訪者は、およそ80~100万人。利用者の多くは地球上で最大の巨木、「シヤーマン將軍の木」を見るためにこちらを訪れます。富士箱根伊豆国立公園の利用者は全体で見れば毎年およそ1億人。山梨県側から富士山に登る登山者に限っても、その数は20万人近くになります。ではホイットニーの登山者はどれくらいでしょうか。

## 入山に際して

7月から9月の登山シーズン中に入山するためには、抽選に当選する必要があります。毎年2月から3月が応募期間になっており、当選者だけに入山許可があります。当選率は50%程度なのですが、週末には10%とも言われるほど、厳しい入山規制が行われています。一日の上限は1000人。入山総人数は年間でもおよそ3万人程度です。当選者は入山許可の出ている日の前日、夕方までにローンパインという町にあるビジターセンターを訪れ、許可証と携帯トイレを受け取ります。



【シヤーマン將軍の木】



【ローンパインで配布された携帯トイレ】



【ローンパインにあるビジターセンター】



【富士山で配られるトイレ】

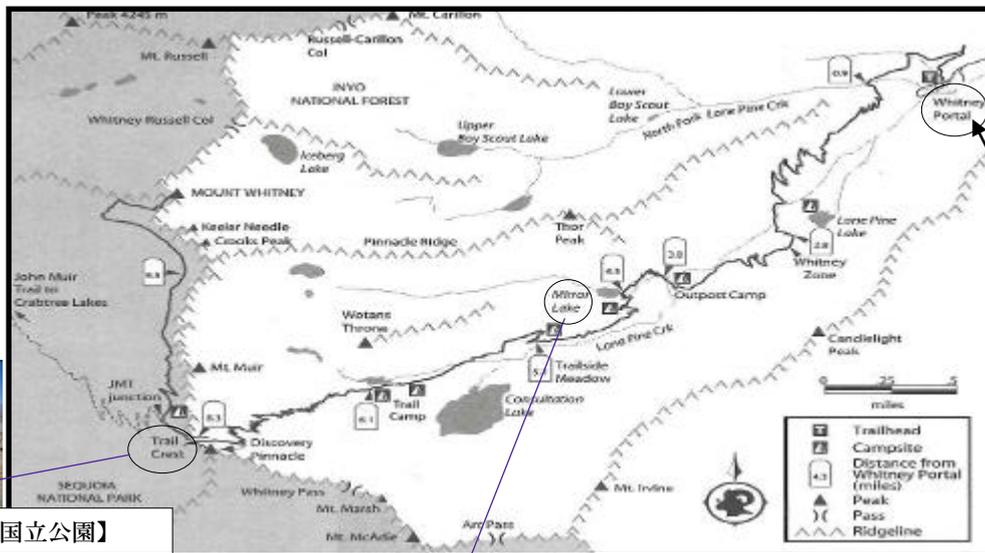
富士山でも山小屋が閉まっている時などには配られる携帯トイレですが、登山道に山小屋のないホイットニーでは必ず自分の排泄物は持ち帰ることになります。富士山で配られるものより簡易的なもので、凝固剤入りのビニールとジップロックが入っている程度です。富士山で配られるものは、人目に触れない様にポンチョが付いている等かなり親切です。

そして、ここで入山料を全員が支払うことになっています。ホイットニーの入山料は約15ドルなので日本円にすると2000円程度でしょうか。富士山では「富士山保全協力金」の支払いを任意でお願いしており、およそ半額の1000円です。環境保全のために御協力をお願いいたします。

ホイットニーの標高は富士山の3776mを越える4418m。歩行距離も富士山が14kmに対し、34kmと厳しい山です。登山口のホイットニーポータルの標高は2400m程なので、その標高差は実に2000mにもなります。7月から9月まではアイゼン等の特別な装備は必要ありませんが、富士山以上に高山病への備えが必要となります。

登山口へはローンパインの町から車で30分弱。本当に小さな田舎町ですが、開山期は多くの登山者で賑わいます。この町は西部劇のロケ地としても有名だそうです。登山口には、富士山の五合目のようにたくさんさんの施設はありませんが、唯一の山小屋(お土産屋?)があり、登山準備を整えることもできます。登山口から先に宿泊施設は一切ありませんので、一般的な登山者はキャンプサイトを利用して、その頂上を目指します。入山日が指定されているためか、富士山で見かけるような、いわゆる弾丸登山者はいません。また、日本ではあまり広まっていませんが、アメリカでは数百km以上あるロングトレイルを何日もかけて歩く、という人も多いです。このホイットニーも「ジョン・ミュア・トレイル」というセミテ公園まで続く340kmの道の一部になっており、登山道はしっかりと整備されていました。このジョン・ミュアという人は「自然保護の父」とも呼ばれ、国立公園の理念を形作った人物でもあります。

登山道の始めは緩やかな樹林帯。富士山の森林限界は2800m程ですが、こちらの森は3400m程まで広がっていました。豊かな自然の中、野生の鹿やライチョウ、マーモットなどに出会うことができます。約10km地点のTrail campを過ぎると急な岩場になり、足も重くなりますが、辺りは遮る物もないので景観は抜群です。高山病の症状からか、頭がクラクラしますが、風と寒さに耐えながら稜線を登りきればホイットニーの山頂です。頂上には落雷避けの避難所と頂上を示す碑があるのみ。静かに登頂の喜びを感じられました。



【Trail Crestより望むセコイア国立公園】

- ①美しい富士山を後世に引き継ぐ
- ②ゴミは絶対捨てずにすべて持ち帰る
- ③ゴミになるようなものを最初から持っていない
- ④登山道をはずれて歩かない
- ⑤登頂記念の落書きをしない

- 富士山カントリーコード-10の約束、美しい富士山をあなたと共にいつまでも-
- ⑥車道外へ車両等を乗入れない
  - ⑦溶岩樹型等の特殊地形を壊さない
  - ⑧駐車場ではアイドリングをしない
  - ⑨動植物を採らない
  - ⑩トイレなど公共施設をきれいに使う

今回の登山で一番印象的だったのは登山道の美しさです。景色はもちろんですが、遊歩道内にはほとんどゴミが落ちていませんでした。そういった点、ビジターセンターを訪れた際、パークレンジャーに食物の持込み制限や、尿の処理方法、公園内での禁止事項などを理解しているかを確認され、誓約書にサインをしました。富士山では近年、外国人の溶岩の持ち帰りや登山マナーの悪さが指摘されますが、未だにルールやマナーが事前に周知されていない事も一因かもしれません。誰もがルールを守って、気持ちよく国立公園を楽しんでもらいたいですね！

# 富士山レンジャー 活動報告

2015年7月～10月

## 富士山安全登山活動まとめ

富士山レンジャーは北麓地域の巡回業務に加え、夏山シーズンとなる7月1日から9月14日の閉山まで連続76日間、五合目より上の巡回と、今年新たに五合目総合管理センター前での安全登山指導を行いました。基本業務は安全登山指導、マナー啓発、自然公園法啓発・指導等です。そのほか、期間中3回の夜間巡回も実施しました。

本年度はマイカー規制を昨年同様



安全登山指導の様子(7月13日撮影)



第1回富士山夜間巡回。八合目小屋前で仮眠する登山者(7月18日撮影)



第1回富士山夜間巡回。夜明け前の本八合目付近の登山道渋滞風景(7月18日撮影)

の53日間実施したことや、各地で噴火が相次いだこと、天候不順等の影響もあり、山梨県側の登山者数は前年比約80%の約17万1千人と大幅な減少となりました(環境省発表)。一方、弾丸登山者数も集計を始めた2007年以降で最少記録を昨年に引き続き更新しました。

期間中の安全登山指導人数は、4944人(7月:1617人、8月:2500人、9月:827人)でした。



第3回富士山夜間巡回。山頂ご来光風景(9月6日撮影)



第2回富士山夜間巡回。山頂でご来光に歓声を上げる登山者(8月17日撮影)

登山者数が大幅に減少したとはいえ、夏休み時期の夜間登山者は依然多く、うっすら空が白みだす頃は、本8合目付近から頂上にかけて登山渋滞が発生しました。「弾丸登山者」は減っているとはいえ、山小屋や登山道で仮眠する風景も依然多く目にしました。「軽装登山者」は啓発効果もあつて、大分改善されてきている様に見受けられました。



中国人観光客への啓発風景。五合目泉ヶ滝に向かって登山道脇にて(10月7日撮影)

## 五合目合同 溶岩持ち出し禁止キャンペーン

10月7日、環境省・山梨県・富士吉田市・鳴沢村・恩賜県有財産保護組合・五合目観光協会等の職員や関係者約50名が参加して、五合目周辺で溶岩持ち出し禁止啓発キャンペーンを行いました。

自然公園法の特別保護地区に該当する五合目以上と青木ヶ原樹海では溶岩や植物等の持ち出しが禁止されていますが、溶岩持ち出し件数は富士山レンジャー集計で昨年在45件、本年度は122件と急増しています。ほとんどの来訪者は、自然公園法自体を知らず、説明すると溶岩の返却に快く応じて頂いています。しかし中には、団体バスで訪れる際に添乗ガイドが溶岩持ち出しを容認する等悪質なケースも見受けられることから、駐車場を起点に小御岳神社、御中道、泉ヶ滝等を重点的に、持ち出しの多い外国人を対象として啓発を行いました。

# 富士さんへ謹賀新年

美しい富士山を守り、引き継いでいくために。  
**富士山にあてた年賀状**を全国から募集します。

**【応募資格】**

誰でも応募できます。

**【募集期間】**

平成27年12月7日(月)  
 ~平成28年1月29日(金)17:00必着

**【募集内容】**

官製ハガキまたは同サイズの私製ハガキの裏に、富士山のイラストを描き、富士山に向けたメッセージを書き添えた「富士山」宛の年賀状を募集します。

**【応募方法・応募先】**

下記の内容を明記し、応募先住所まで郵送、または持参してください。

(ハガキの表面)

郵便番号、住所、氏名、年齢、職業(学校・学年)、  
 電話番号、公募を知った情報手段を明記(※必須)

**【賞品】**

- 最優秀賞1点: 20,000円商品券
- 審査員特別賞2点: 10,000円商品券
- 優秀賞15~18点: 2,000円商品券
- 入選作品(上記18~21点を含む)200点: 記念品

**【入賞者の発表】**

平成28年2月中旬に、ホームページ等で発表します。

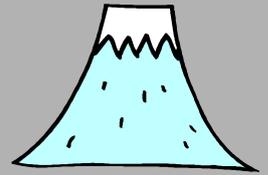
**【応募規定】**

- ・応募点数は1人1点のみとします。
- ・手書き・版画・貼り絵(ちぎり絵)・パソコン等により作成されたもので、平面的なものに限ります。
- ・写真や既成のイラスト等の使用はできません。
- ・応募者本人が著作権を所有する未公開のデザインに限ります。

**【注意事項】**

- ・応募作品は、返却しません。
- ・応募作品の著作権は、富士山憲章山梨県推進会議に帰属するものとします。
- ・応募方法の記載に不備があるものは、応募数には入れますが審査対象としません。
- ・入選作品となった場合は、居住都道府県名と氏名を広報等で発表します。
- ・入選者のみ通知します(落選者は通知しません)。
- ・入選作品は富士北麓地域等で巡回展示します。
- ・応募作品は①小学生低学年以下の部、②小学生高学年の部、③中学生の部、④高校生の部、⑤一般の部に分けて審査します。年齢が記載されていない年賀状は、一般の部として審査します。

富士山のイラスト、富士山へのメッセージをご記入ください。



裏

401-0301  
 山梨県南都留郡富士河口湖町  
 船津6663-1  
 富士ビジターセンター内

富士山ボランティアセンター

表

郵便番号 ご住所  
 お名前  
 年齢  
 職業(学校・学年)  
 電話番号  
 この公募を何で知ったか

はがきの記入例

**【応募先・問い合わせ】**

富士山ボランティアセンター  
 TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114 E-Mail: fujisan@eps4.comlink.ne.jp  
 ホームページ: <http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>  
 〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1 富士ビジターセンター内



## 富士山レンジャー写真展開催中！！

今年で“富士山レンジャー”が設立されて10年が経過しました。今回の写真展では私達、富士山レンジャーの10年間の活動の他に、富士山の美しい景色や動植物、富士山が抱える問題などを紹介しています。普通とは少し違った、富士山レンジャーならではの視点で撮られた写真をぜひ見に来てください。

現在、山梨県内および、周辺各地で移動展示を行っています！  
 ※写真(右)は甲府のアウトアショップ、ELKでの展示の様子

**【今後の展示予定】**

- ・11月16日(月)~11月30日(月) 河口湖ショッピングセンターベル
- ・12月1日(火)~12月6日(日) 甲府市立図書館
- ・12月19日(土)~1月17日(日) 御殿場ビジターセンター樹空の森
- ・2月1日(月)~2月28日(日) 山梨県庁防災新館



○富士山環境学習支援プログラムのお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、多くの人が富士山とふれ合い、知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的とし、富士山学習の支援事業を実施しております。交通費や謝礼等は一切必要ありません。企業における各種研修に是非御活用ください。

実施日.. 原則として平日の毎日  
(年末年始をのぞく)

実施時間..

九時三十分～十六時三十分  
の時間帯のうちの三十分間、

受講料.. 無料

対象.. 地域住民・各種団体・企業等および児童・生徒・学生(教員向け研修もあり)

定員.. 六十名まで

※業務の都合により実施できない日があります。

※実施時間・定員に関しては規定外でも応相談します。

申込.. 原則として1か月前までに申込みを行ってください。

所定の申込書に必要事項を記入の上、

FAXへ郵送/EMAILにて送付してください。

詳細は下記をご覧ください。申込書については下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/manabo/manabo001/index.html>

その他.. 事前の打ち合わせ・下見等が必要になる場合があります。申込み・打ち合わせは受講される団体の責任者が行ってください。旅行者等による代行は認めません。

問い合わせ..

富士山ボランティアセンター

電話 〇五五五二〇九二二九

FAX 〇五五五七二四一一四

○富士山環境保全募金の募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境を保全していくために、皆様からの募金を受け付けております。皆様から寄せられた募金は、富士山環境保全の費用として大切に活用させていただきます。皆様のご理解

とご協力をよろしくお願いいたします。

寄付金を入れる募金箱は、次の場所に設置されています。

募金箱設置場所..

富士山ボランティアセンター

河口湖観光案内所

山梨県立富士山科学研究所

道の駅「なるさわ」

道の駅「しもべ」

ふじやまビール

道の駅「ふじよしだ」

山梨県立富士湧水の里水族館

山中湖平野温泉石割の湯

山中湖村役場

山中湖温泉 紅富士の湯

山中湖観光案内所

山中湖 花の都公園

※一万円以上の金額を提供いただいた方(団体)には、感謝状を贈呈させていただきますので、その際には直接富士山ボランティアセンターにご連絡くださるようお願いいたします。

問い合わせ..

富士山ボランティアセンター

電話 〇五五五二〇九二二九

FAX 〇五五五七二四一一四

## 富士山憲章(行動規範)

- 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境の保全の理念や行動規範を示し、環境保全の実践活動を呼びかけ、国民的な規模で、運動の展開を図っていくことを目的としています。

### 発行: 富士山ボランティアセンター

(山梨県観光資源課富士山分室)

TEL: 0555-20-9229

FAX: 0555-72-4114

山梨県富士河口湖町船津剣丸尾6663-1

e-mail: [fujisan@eps4.comlimk.ne.jp](mailto:fujisan@eps4.comlimk.ne.jp)

本誌のバックナンバーについては、下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全メルマガの配信を希望する方は

「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメルマガジン」

会員登録画面

(<http://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/regist.html>)

より会員登録してください。

富士山ボランティアセンターは、富士山の環境保全活動を推進するための活動拠点であり、富士山憲章山梨県推進会議(地元7市町村・恩賜県有財産保護組合及び山梨県から構成される)によって運営されています。